



秋田県藤里町粕毛地域

ふじさと粕毛地域活性化協議会

秋田県藤里町

秋田県北部に位置し
青森県との県境には
白神山地が広がっている

人口数：2,549人

世帯数：1,078世帯

高齢者(65歳以上)

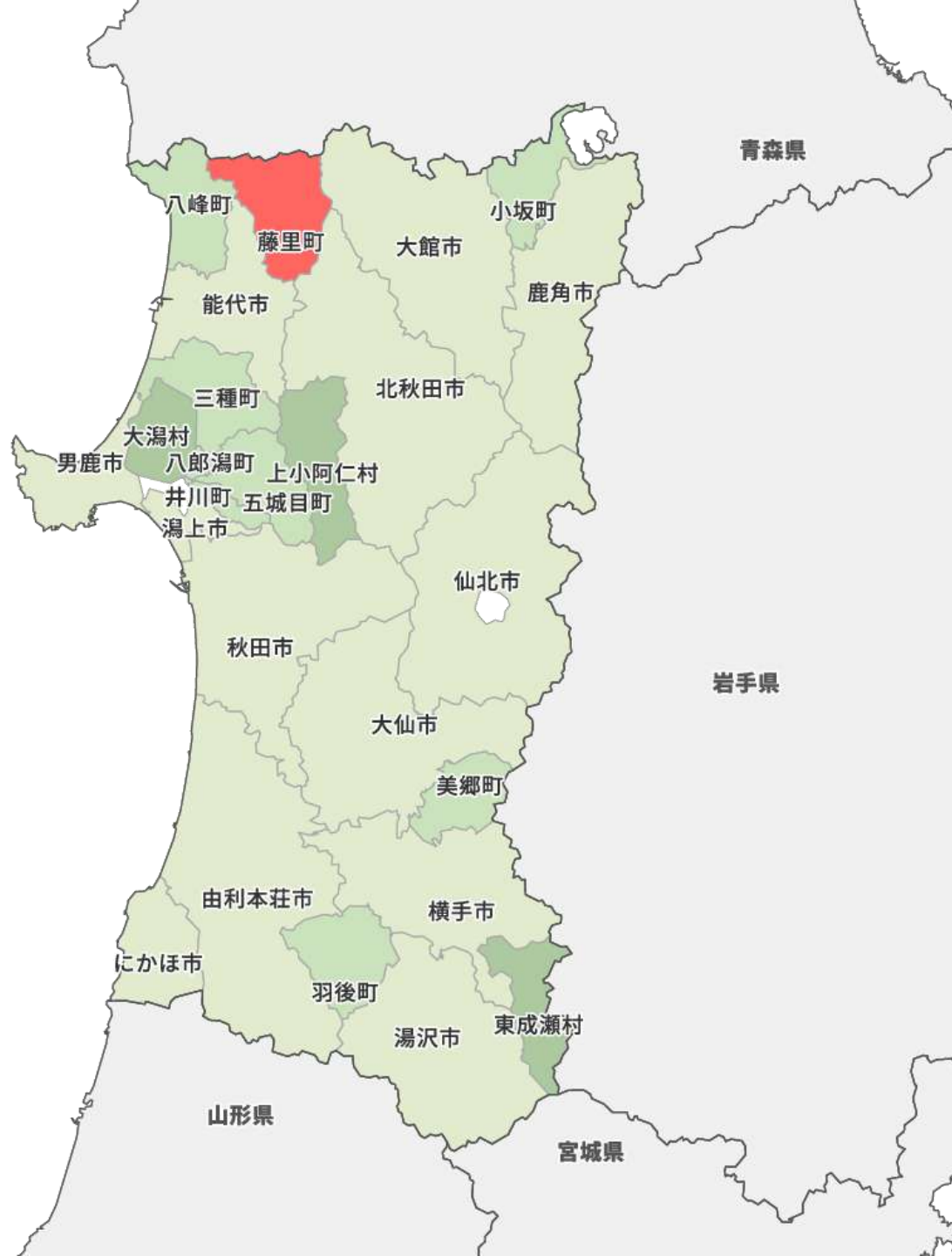
：1,402人

(率：54.6%)

県内で2番目の高齢化率
(5年連続)

令和6年6・10月時点

参考：秋田県



南白神ベース



年度別宿泊延べ人数

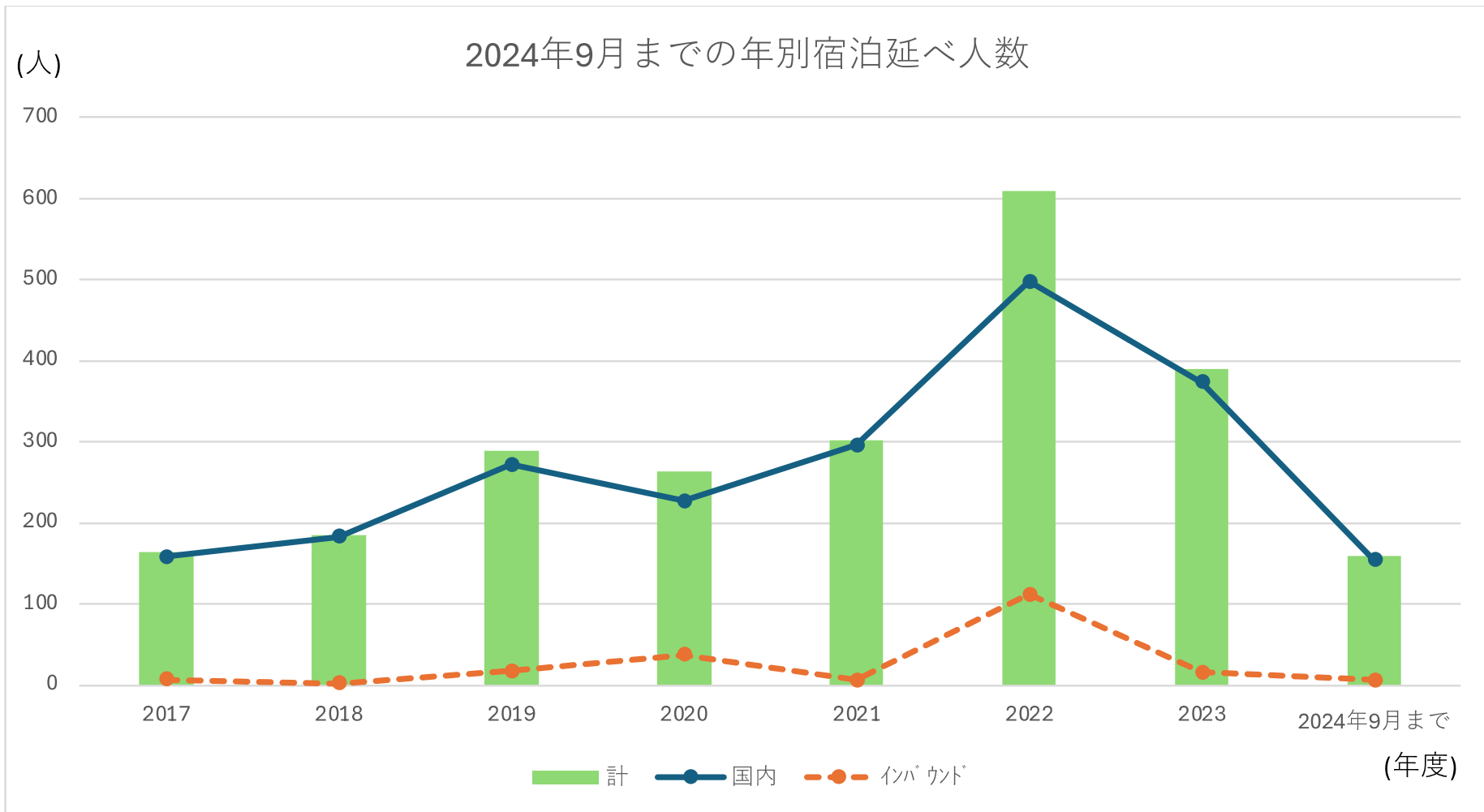
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
国内 158名 インバウンド 7名	国内 183名 インバウンド 2名	国内 272名 インバウンド 17名	国内 227名 インバウンド 37名	国内 296名 インバウンド 6名	国内 498名 インバウンド 112名	国内 374名 インバウンド 16名
計165名	計185名	計289名	計264名	計302名	計610名	計390名

2024年度 1～9月の宿泊延べ人数

国内154名

インバウンド6名

計160名







2024年度の藤里学園宿泊体験

- 地区名、対象集落、範囲

秋田県藤里町粕毛、真土：旧市町村(旧粕毛村)

- 中山間地農業ルネッサンス事業実施要綱の対象地域

特定農村 振興山村 過疎 特別豪雪 農林統計上の中山間地域

- 各面積、世帯数

土地：162.9ha 農地：80.1ha 世帯数：152戸

(全て令和5年4月時点)

- 事業実施主体

ふじさと粕毛地域活性化協議会

- 事務局

NP0法人ふじさと元気塾



粕毛地区 ドローン空撮

RM0の対象エリアに設定した理由

- 粕毛地区は人口**819人**、高齢化率は**47%**
→ **高齢化と人口減少が著しい中山間地域**
 - 高齢化と後継者不足により**農地の維持管理**や**地域の環境保全**及び**冬期間の除排雪作業**が困難に
- ① 共有する地域資源の利活用面などを考慮し、関連する粕毛集落及び真土集落の2つの集落で連携し**協議会**を立ち上げ、地域を活性化するための取り組みを行う
 - ② 環境保全活動、生活支援活動を行い、**住民が安心して暮らし続けることができる**ようにする

構成員の名称	協議会内における役割
NPO法人ふじさと元気塾	農家民宿運営等、移住定住支援、加工品商品化等
粕毛地区環境保全会	農地の環境保全活動
農業従事者	農産物生産・農業体験指導、加工品づくり等
藤里町社会福祉協議会	生活支援全般
粕毛地区共助隊	高齢者見守り、生活支援、除排雪作業代行等
粕毛薄井沢自治会	粕毛薄井沢地区の自治の推進
真土部落自治会	真土地区の自治の推進
元地域おこし協力隊	加工品商品開発、地域活性化活動、イベント協力
移住者2名	加工品商品開発、販売、農産物販売、農業体験補助、地域活性化活動、イベント協力、ドローン操作等
粕毛農家民宿まちづくり協議会	農家民宿等運営、農業体験、加工品づくり

「農村RMO」の事例学ぶ

ふじさと粕毛まちづくり協がWS

藤里町のふじさと粕毛まちづくり協議会（小森久博会長）の農泊ワークショップ（WS）は20日、同町粕毛交流センターで開かれ、秋田市出身の農業ジャーナリストで明治大客員教授の梅田みどりさんの講演を聴いた。粕毛地区は農泊を中心とした里づくりの継続によって「南白神」の拠点として認知されるようになり、「農村RMO」事業を進める

ことになっており、これまで蓄積してきたノウハウを新しい仕組みの中でも生かして魅力ある里づくりを進める。

「魅力ある里づくり」のこれからに向けて地域で

支え合う農村RMOという選択肢の提案」の演題で話した梅田さんは、RMOの先駆的モデルとなった広島県東広島市の小田地区をはじめ、全国各地のRMOの事例を報告した。この中ではRMOの考え方のこのほか、「担い手不足、荒廃地増加、限界集落はもう20年も前から言われているが、状況は全く変わっていない。結局は人を育てられるかどうかにかんする」といった先駆者から聞いた言葉も紹介し、すでに地域にいる人材を生かすこと、町外から人を取り込むための施策なども提案し、藤里町のこれからの方向性を考えた。農村RMOは、人口減少が顕著な中山間地域の農地保全と農業を軸に、住民と法人、自治会などが一体となって「地域経営」に取り組み組織。参加者は梅田さんの講演に耳を傾け、講演後は意見交換も行われた。



梅田さんの講演を聴いた粕毛まちづくり協議会の農泊WS

令和5年1月23日 月曜日 北羽新報掲載









